

祭神 大己貴命
祖殿 少彦名命

神社 清和天皇貞觀二年六月九日戊子能登國大穴持神像石
神列於官社

祭日 四月一日九月三十日

社格 村社(明細帳縣社とあり)(縣社)

所在 一宮寺家村(羽咋郡一ノ宮村大字一宮寺家)

今按氣多神社明應八年神社目錄に三拾荷 前一宮大穴持
進と載たるは是社地の邊なる田畑なりと云ひ又往古以來
氣多神社の攝社にて氣多の舊神官より官司に補せらるゝ
例なりと云ひ今尙神像石は社前の道邊に存在し方五尺許
にて偶不潔のことあれば禍を得る者往々ありて威靈を現
し玉ひ又此社を俗にオナヂの宮と稱するも甚由あれば此
地なること疑なし舊來同郡町村と梨谷小山の兩社を像石
神社として互に爭論ありしかど寛延二年社號帳に町村は
住吉大明神小山村は三代大明神と記したるを寛曆十年の
帳には町村を大穴持社天明後は同所を八千餘社とし小山
村を大穴持身代社と記せるなど甚だ疑はしければとらず

○能登郡十七座 並小

能登比咩神社

祭神 能登比咩神 霧妙天神

今按一説に祭神三穗津姫命とあれど如何あらん社傳に氣

藤原比古神社

祭神

祭日

社格

所在

今按鹿島郡三階村鎌足宮を當社なりと貞享二年由來書に
のせられども社邊の谷を鎌河谷と云を里俗鎌足と云によ
りて藤原比古神社に附會せるものなるべければ信がたし

菅忍比咩神社

祭神 菅忍比咩神 稱日面大明神

祭日 三月八月十三日六月十九日

社格 村社

所在 笠師村 ○屬鹿島郡(鹿島郡笠師保村大字笠師)

今按當村上古笠師氏の居地なるが故に笠師村といふ今管
ヶ谷管ヶ坂など呼べる地名あり是皆往古以來の遺名にて
此地に菅忍比咩神社あるもいと由ありて聞ゆ

加夫刀比古神社

祭神 加夫刀比古神

祭日 三月八月八日

社格 村社

所在 甲村甲山 ○屬鳳至郡(鳳至郡兜村大字甲)

天日陰比咩神社

祭神

祭日

社格

所在

今按鹿島郡二宮村二宮社同郡西馬場村入合の地にある兩
乞社を當社と云へど何れも證なし但二宮は一宮に對した
る式社ならんか二宮村は石動山の麓にありて二宮道古來
の本道とす舊説に伊須流岐比古神社は古當國の二宮にて
二宮村に祀りしより邑名ともなりしなれど中古山上の神
祠隆盛なるに隨て二宮の方衰頽し社も湮滅すと云り此説
によりて考ふるに天日陰比咩神は伊須流支比古神に所縁
ありて同所に祭られ玉ひしが後に山上と山下とに別ち祭
られたるにはあらずるかされど確證なければ決めがたし

鳥屋比古神社

祭神 鳥屋比古神 稱六所明神

能登國 能登郡

祭日 三月八月十日

社格 村社(明細帳羽坂村になし春木村同社あり)(郷社)

所在 羽坂村 ○屬鹿島郡(鹿島郡鳥屋村大字春木)

今按本社一青庄十三ヶ村の總社にて貞享二年由來書に能
登郡羽坂村六所大明神は十ヶ所の總社にて鳥屋比古神社
と申傳ふる由を記し明曆三年棟札に奉再興鳥屋村了安願
望とあり此鳥屋今は廢村なれど中古まで鳥屋羽坂とて兩
村ありと口碑す他の證なしと雖も鳥屋と云ひ羽坂と云ふ
もの鳥屋比古神に由縁あれば確定して可也

荒石比古神社

祭神 荒石比古神

祭日 四月九月四日

社格 村社

所在 川尻村 ○屬鹿島郡(鹿島郡端村大字川尻)

今按豐田町村の日吉社を當社なりと天明二年爭論あり
しかども貞享二年由來書に豐田村山王社とのせたるのみ
にて證なければと難し又川尻村は藥師社と稱すれども
貞享二年の由來書に荒石比古神社と記し隨身駒犬等の千
年をも經たる古器傳はれるなど證とするに足れりと云へ
ば今之に従へり

久氏比古神社

祭神 久延比古命